

今後の予算編成の方針

GKP の活動を持続可能なものとするため、予算配分の基準を明確化する。
ベーシック基準については、令和 5 年度の予算編成から適用する。

■GKP 予算配分基準について（案）

1. ベーシック基準（令和 5 年度より適用）

- ① GKP の目的（広報活動による下水道のプレゼンス向上）のため必要な予算か？
 - ② GKP 個人会員、団体会員のメリットになっているか？
- ※以下に該当する費用は除く
- ・ GKP 以外の個人・法人・団体の事業費等の支援につながる費用
 - ・ GKP 以外の個人・法人・団体の事業を広報する費用



2. 各プロジェクトの実績や評価を予算に反映するための論点（令和 5 年度に議論）

●広報活動（広報を推進するプロジェクト）

予算については下記の視点を含めて、GKP が持続できる調達や配分のあり方、予算のスリム化などの方向性を検討する。

- ・プロジェクトの展開に併せて新たな収入につながる道を検討
- ・プロジェクト協賛企業の募集、参画する自治体等における協賛金調達などを検討
- ・プロジェクト間の連携による広報資材の共有など、予算スリム化につながる方策の検討

●ミドルウェア的位置づけの事業（コミュ研・GKP 広報大賞）

- ・事業事務費に予算を計上する。
- ・現行の企画運営委員会メンバーは全員参加を原則とする。
- ・運営協力への参加のための交通費はボランティア参加（法人・団体・自治体等組織に属さない個人・有志での参加）のみ GKP で負担（但し、交通費は 1,000 円/日まで）する。



3. 交通費について

- ・委員会参加のための交通費は所属団体にて負担
 - ・各プロジェクト参加のための交通費はボランティア参加（法人・団体・自治体等組織に属さない個人・有志での参加）のみ GKP で負担（但し、交通費は 1,000 円/日まで）
- 事務局判断により、例外的に交通費・宿泊費を認める場合がある（都度協議）。この場合の規程も別途定める。